

## たてものクイズ

この建物は、電話交換局が廃止されたときに、○（ヒント：ある動物の名、漢字1文字・ひらがなだと2文字）を飼うための施設として売られそうになったところを明治村に引き取られました。

○に  
文字を入れて  
みよう

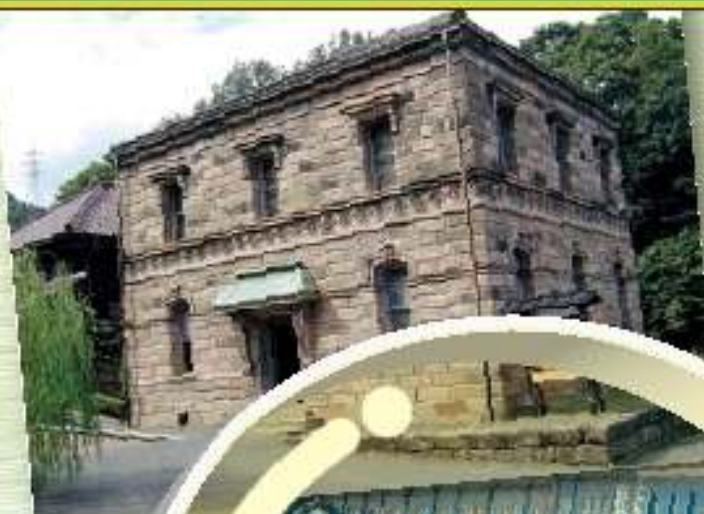


## はみだしコラム

日本に電話が登場したのは、1890（明治23）年、東京・箱根間に電話線が引かれました。1899（明治32）年には、東京・大阪間で電話が通るようになり、その後、全国へと広がっていきました。電話は、電話局の交換手が2つの電話線をつなぐことにより話ができるようになっていました。電話をかけるときには、電話機柄の取っ手をくるくるとまわし、交換手を呼び出します。交換手がたたら、相手の番号を告げ、つないでもらいます。市外電話は、申し込んだからつながるまで何時間も待たされるのがふつうでした。



# 明治村 錦絵れきし探偵団



札幌電話交換局  
北: 函館 1896(明治31)年

## 従道コース



みなさんの中にも携帯電話を持っている人が多いと思います。明治時代の電話は、今とはだいぶ使い方が違っていました。



錦絵とは、多くの色を使った浮世絵風のことです。江戸時代中期に発生した明治時代に入ると使われる色の種類も劇的に豊富になり、テーマもより多様性のあるものが選ばれるようになってきました。

平成19年度  
文化庁芸術拠点  
形成事業



「第一大區 京橋商店 煉瓦石繁栄図」 一隴斎国牌 画

札幌電話交換局は、明治村2丁目レンガ通りに移築されています。内部には昔の電話が展示されています。

# Q1

この錦絵は、今の東京銀座付近の様子です。どうして煉瓦の建物が多いのですか？

- ① お金持ちが多かったから
- ② 外国人を迎えるため
- ③ 火事を防ぐため



# Q2

主にどんな仕事の人か、煉瓦の建物を利用したでしょうか？

- ① 飲食店・新聞社
- ② 銀行・会社
- ③ 呉服店・役所



# Q3

明治23(1890)年に、東京と横浜間で電話が開通しました。開業当時の東京の電話加入者は、何人ぐらいだったでしょうか？

- ① 150人ぐらい
- ② 1500人ぐらい
- ③ 15000人ぐらい



今の電話と比べてみよう

